



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也

TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,736	9.0	192	30.9	170	38.9	98	50.4
24年3月期第2四半期	6,178	—	147	—	123	—	65	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 97百万円 (47.6%) 24年3月期第2四半期 65百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.71	—
24年3月期第2四半期	10.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,595	1,682	22.1	268.82
24年3月期	7,420	1,586	21.4	253.55

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,682百万円 24年3月期 1,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	10.0	230	171.3	180	316.5	70	—	11.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 11社（社名）株式会社ひだ銘販、除外 1社（社名）—  
株式会社東京旬彩堂 他9社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	7,275,000株	24年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,016,329株	24年3月期	1,016,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	6,258,671株	24年3月期2Q	6,258,671株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等による企業収益の持ち直しや、設備投資が穏やかな加速傾向にある一方で、長引く円高や中国の景気減速等、先行きは依然として不透明な状況にありました。

このような状況の下、当社グループでは「有望市場への積極的な販売網の拡充」の基本方針に基づき、当社グループの中心的事業であります、みやげ卸売事業と、みやげ小売事業におきまして積極的な販路拡大及び直営小売店の新規出店を実施してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,736百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は192百万円（前年同四半期比30.9%増）、経常利益は170百万円（前年同四半期比38.9%増）、四半期純利益は98百万円（前年同四半期比50.4%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

#### ①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と提案による販路の拡大策を図ってまいりました。中でも本年5月に開業いたしました東京スカイツリー及び関連市場への商品供給による積極的な販路と業容の拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は3,954百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、営業利益は191百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

#### ②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として新東名高速道路清水PA内に「富士旬粋店」を本年4月にオープンし、毎週末及び夏休みシーズン等を中心に堅調に推移致しました。その結果、売上高は1,135百万円（前年同四半期比42.0%増）となり、営業利益は54百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

#### ③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、上記のスカイツリー関連の新商品や「旬粋」ブランド関連商品の販売の他、各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。その結果、売上高は354百万円（前年同四半期比25.0%増）となり、営業利益は31百万円（前年同四半期比147.8%増）となりました。

#### ④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めましたが、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりから来店客数の減少がありました。その結果、売上高は822百万円（前年同四半期比6.1%減）となり、営業損失は48百万円（前年同四半期は35百万円の営業利益）となりました。

#### ⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は65百万円（前年同四半期比0.8%減）となり、営業利益は15百万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

#### ⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。その結果、売上高は442百万円（前年同四半期比3.5%減）となり、営業利益は43百万円（前年同四半期比24.6%増）となりました。

#### ⑦その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は528百万円（前年同四半期比2.6%減）となり、営業利益は23百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて175百万円(2.4%)増加して7,595百万円となりました。

これは主として、現金及び預金が192百万円、有形固定資産が34百万円、投資その他の資産が113百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が408百万円、商品及び製品が110百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて79百万円(1.4%)増加して5,913百万円となりました。

これは主として、流動負債その他に含まれる未払金が75百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が107百万円、未払法人税等が45百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、利益剰余金が96百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて95百万円(6.0%)増加して1,682百万円となりました。

この結果、自己資本比率は22.1%となり、前会計年度末に比べて0.7%上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日開示の平成24年3月期決算発表時と変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、連結範囲の変更に伴い株式会社赤城銘販、株式会社ひだ銘販、株式会社佐渡銘販、株式会社郡山銘販、株式会社蔵王銘販、株式会社富士銘販、庄和堂株式会社、株式会社奥羽銘販、株式会社札幌旬彩堂、株式会社青森銘販及び株式会社東京旬彩堂を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社、アウトドア用品事業の商品の評価方法は、従来、売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが本稼働し、商品の受払に基づく在庫計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、当第1四半期連結会計期間から総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、システムの対応が不可能なため前連結会計年度の期末における商品の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり適用しております。

なお、当該変更による商品、売上原価及び各段階損益並びに1株当たり情報への影響額は僅少であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,269	783,308
受取手形及び売掛金	894,782	1,302,996
商品及び製品	590,143	700,283
原材料及び貯蔵品	67,420	75,929
その他	103,751	99,612
貸倒引当金	△5,544	△8,468
流動資産合計	2,626,821	2,953,662
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,532,163	1,491,892
土地	1,007,443	1,007,443
その他（純額）	289,901	295,303
有形固定資産合計	2,829,508	2,794,639
無形固定資産		
無形固定資産合計	166,504	163,288
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,022,217	1,031,185
その他	826,065	704,317
貸倒引当金	△50,945	△51,422
投資その他の資産合計	1,797,337	1,684,079
固定資産合計	4,793,350	4,642,007
資産合計	7,420,172	7,595,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	468,821	576,689
短期借入金	2,423,454	2,464,512
未払法人税等	42,139	87,820
賞与引当金	55,307	58,609
返品調整引当金	6,353	5,313
ポイント引当金	10,154	12,029
その他	489,183	414,471
流動負債合計	3,495,413	3,619,446
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,555,125	1,514,111
役員退職慰労引当金	53,054	54,654
資産除去債務	314,572	318,001
その他	115,113	107,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債合計	2,337,865	2,293,785
負債合計	5,833,279	5,913,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	71,310	167,945
自己株式	△199,767	△199,767
株主資本合計	1,592,377	1,689,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,484	△6,574
その他の包括利益累計額合計	△5,484	△6,574
純資産合計	1,586,893	1,682,437
負債純資産合計	7,420,172	7,595,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	6,178,233	6,736,281
売上原価	4,607,550	5,023,018
売上総利益	1,570,682	1,713,263
販売費及び一般管理費	1,423,379	1,520,414
営業利益	147,303	192,848
営業外収益		
受取利息	3,902	4,108
受取配当金	340	310
仕入割引	1,384	1,705
受取事務手数料	3,964	4,786
業務受託料	5,063	—
その他	5,834	7,578
営業外収益合計	20,489	18,489
営業外費用		
支払利息	43,380	39,238
その他	1,309	1,171
営業外費用合計	44,690	40,410
経常利益	123,101	170,927
特別利益		
受取補償金	—	12,440
特別利益合計	—	12,440
特別損失		
固定資産除却損	160	—
災害による損失	5,171	—
特別損失合計	5,332	—
税金等調整前四半期純利益	117,769	183,368
法人税、住民税及び事業税	47,705	84,889
法人税等調整額	4,701	146
法人税等合計	52,407	85,036
少数株主損益調整前四半期純利益	65,361	98,332
四半期純利益	65,361	98,332



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	65,361	98,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	514	△1,089
その他の包括利益合計	514	△1,089
四半期包括利益	65,875	97,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,875	97,242
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,769	183,368
減価償却費	134,764	134,478
受取補償金	—	△12,440
固定資産除却損	160	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,475	3,401
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,255	3,302
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,626	△1,040
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,722	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	682	1,875
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,550	1,600
受取利息及び受取配当金	△4,242	△4,419
仕入割引	—	△1,705
支払利息	43,380	39,238
売上債権の増減額 (△は増加)	△468,140	△408,214
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,111	△118,649
営業保証金の減少額 (△増加額)	△40,040	80
仕入債務の増減額 (△は減少)	131,901	107,868
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,607	240
前受金の増減額 (△は減少)	△986	△5,548
その他の資産の増減額 (△は増加)	84,209	17,084
その他の負債の増減額 (△は減少)	25,294	△19,345
小計	381	△78,824
利息及び配当金の受取額	527	2,218
利息の支払額	△42,894	△39,330
補償金の受取額	—	12,440
法人税等の支払額	△5,177	△39,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,162	△142,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△172,000	△172,000
定期預金の払戻による収入	178,000	178,000
有形固定資産の取得による支出	△60,510	△122,111
無形固定資産の取得による支出	△9,445	△10,925
敷金及び保証金の差入による支出	△24,789	△23,298
敷金及び保証金の回収による収入	—	23,662
その他	20,445	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,299	△126,773

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△650,000	△400,000
固定資産に係る割賦債務等の返済による支出	△18,454	△18,937
長期借入れによる収入	602,262	600,708
長期借入金の返済による支出	△278,432	△500,912
配当金の支払額	△12,595	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,780	80,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	227,317	△189,008
現金及び現金同等物の期首残高	377,755	736,464
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,361	2,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	614,434	549,503

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2 四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への	3,539,013	799,125	142,783	875,427	55,669	458,855	5,870,874	307,358	6,178,233	—	6,178,233
売上高											
セグメント間											
の内部売上高	22,700	—	140,504	—	10,285	—	173,490	235,057	408,548	△408,548	—
又は振替高											
計	3,561,713	799,125	283,288	875,427	65,955	458,855	6,044,365	542,416	6,586,781	△408,548	6,178,233
セグメント											
利益又は	171,087	△1,426	12,645	35,558	17,856	35,242	270,963	26,262	297,225	△149,922	147,303
損失(△)											

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	3,821,789	1,135,092	154,276	822,361	53,402	442,843	6,429,765	306,515	6,736,281	—	6,736,281
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	133,048	—	199,840	—	12,000	—	344,889	221,842	566,731	△566,731	—
計	3,954,838	1,135,092	354,117	822,361	65,402	442,843	6,774,655	528,357	7,303,013	△566,731	6,736,281
セグメント 利益又は 損失(△)	191,608	54,694	31,337	△48,260	15,911	43,895	289,187	23,553	312,741	△119,893	192,848

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。